



学校教育目標 『自らすすんで、学ぶ・鍛える・共に生きる』

1. 生活や学習の基礎基本を通して、主体的に課題を見だし解決する力を身につけた生徒を育てます。【知】
2. 礼儀や規律を大切に、夢や希望、感謝の心をもった生徒を育てます。【徳】
3. 心身共に健康で、自他の生命や自然を尊重する生徒を育てます。【体】
4. 社会の一員としての自覚と責任をもち、よりよい社会を実現しようとする生徒を育てます。【公】
5. 体験を通して自らの可能性を知り、広い視野に立ったものの見方や考え方を身につけた生徒を育てます。【開】

自分で課題を見つける力を大切に～最初の思いや気づきから～

副校長 松本 たか子

朝からさわやかな青空が広がった6月6日（木）、第9回体育祭が行われました。猛暑による熱中症対策のため、短縮時程で行いました。暑い中お越しいただき、生徒を応援してくださった皆様、ありがとうございました。今年度は、体育の授業で行っていることを基本とし、新学習指導要領に沿った新しい方向を目指した内容でした。スピード、リズム、パワー、仲間との協力性、自主的な係活動など3年生の迫力と洗練された活動に、2年生、1年生も感動したり、励まされたり、大きな影響を受けたのではないかと思います。

ジャズの音楽を背景にした準備体操は、体育祭実行委員が考え、青組と白組のそれぞれの体育祭実行委員が自分たちのチームのオリジナルな振り付けをし、2年生、1年生に伝えたそうです。大変画期的でもっと見ていたいと思われました。全体を通して、全員が一生懸命に取り組み、一生懸命にやることのかっこよさを共有できたことに、あかね台中学校の「あか中魂」の伝統は引き継がれたのではないかと思います。（詳しくは別ページに。）



一方、「もっとコミュニケーションをとればよかった」「もっと練習しておけばよかった」などと自分の課題を感じた部分もあるかと思います。そのことが実はとても大切で、変化の激しい未来に向けて、気づいたことを自分の課題として意識し、周りの人と協働して主体的に課題を解決する力をつけていくことが、これからの生きる力の大切な部分ではないかと思います。何に向きあえばよいのかを自分で感じ取り、明確な目標とする経験が、その第一歩だと思います。その「気づき」を大切にして、具体的に次の活動につなげていきましょう。「課題」イコール「伸びしろ」でもあるのですから。



ところで、ホタルの話題が聞こえてくる時期ですが、ホタルの再生をめざし、自分の思いを活動の目標にして、周りの人と協働して課題解決に向かった人の話を最近テレビで見ました。豪雨でホタルが激減したふるさと（高知県西部宿毛地区）に、ホタルの里を再生させようと、ホタルの幼虫を育てることから始め、そのために育てるのが難しいとされる餌のカワニナ（巻貝の一種）を、村の人々が味噌と米ぬかの団子の餌をつくる等の協力をして見事に育てあげ、ホタルの里を復活させたというものです。子どもたちにホタルの舞うふるさとを残したいという強い思いを、目標（課題）に変え、周りの人と協力し工夫を重ねて、課題を達成したことに人間の意思と優しさが拓く世界の可能性を感じました。この方の年齢は80歳を超えています。子どもたちに心のふるさとを残したいと強く願う人、先輩から引き継いだバトンを受け取ってより良いものを創ろうとする人、迷いながらも目標に向かうすべての人にエールは送られている気がします。

1 学年遠足 5月28日(火) 長井海の手公園ソレイユの丘・油壺マリンパーク

今年度の遠足は、長井海の手公園ソレイユの丘です。午前中は、飯盒炊飯でのカレーづくり、午後に広場での学年レクリエーションを計画していました。

当日、予定通りに、ソレイユの丘に向けて出発しました。バス内では係生徒が中心になり、レクリエーションを進め、とても楽しいひと時を過ごすことができました。「バスが苦手で、いつも車酔いをするので心配」と不安がっている生徒もいましたが、「とても楽しく、車酔いを全然しませんでした。」と笑顔で話してくれました。

ソレイユの丘では、カレーづくりにチャレンジしました。中には、野菜を切ることに慣れていない生徒もいましたが、協力し合って活動できました。ほとんどの班が、スムーズに作業し、施設の方々も、生徒の皆さんの手際の良さに、驚いていました。学年が、まとまっていることを実感する活動でした。できあがったカレーもとてもおいしいものでした。

ところが、急な雨で油壺マリンパークに向かうことになりました。皆で協力し、時間通りに着くことができました。油壺マリンパークでは、サメに触れたり、かわいいカワウソを見学したり、とても喜んでいる姿が印象的でした。学年レクリエーションに向け、事前にリハーサルなど準備をしていたため、楽しみにしていた生徒も多く、予定したことができなかったことは、とても残念でした。しかし、どのような活動に対しても一生懸命に取り組み、協力して活動する生徒の姿を見ることができ、とても有意義な遠足であったと感じた一日でした。

【遠足実行委員長の言葉 1年3組 羽深 正晃】

令和元年5月28日、1年生は三浦へ行きました。同じくこの日、アメリカのトランプ大統領が横須賀を訪問していました。そのため、高速道路では、警察官が配備され、緊張感に包まれていました。

三浦は厚い雲におおわれ雨も降りましたが、バスレクではビンゴやクイズをして、全員で楽しんでいました。また、飯盒炊飯では仲間と協力して美味しいカレーライスを作れました。油壺マリンパークではグループごとに海の生物の観賞をし、より仲が深まり、お互いの良い点も見つかったと思います。遠足の翌日からは、新しい友達との会話に花が咲いていました。三浦遠足は、友達との仲を深めるいい機会になったと思います。



— 2 学年自然教室 — 長野白樺湖・車山方面

週間天気予報ばかり見ていた、5月中旬。結果的には5月としては異例の高温注意でした。しかし日差しは強かったものの、体験場所は標高が高く（高温ではなく）すべての行程を予定通りに行うことができました。ずっとカメラを構えていましたが、こんなにもキラッキラの笑顔をたくさん見ることは、普通の生活にはないことだと、強く感じる素敵な2泊3日でした。

【実行委員長の言葉 2年2組 遠藤 燦斗】

私たち2年生は、5月26日から2泊3日の日程で長野県へ自然教室に行ってきました。都会から離れ、自然の中に身を置くことで様々な経験をし、多くのことを学びました

1日目の野外炊事では皆が積極的に動き、協力し合い美味しいカレーを作ることができました。

2日目のハイキングではお互いが声を掛け合い一人一人が頑張る姿が印象的でした。登り終えた後の頂上の空気は格別でした。夜のキャンドルファイヤーは、各クラス趣向を凝らした劇やダンスで盛り上がりました。クラスや学年が一体となって一層絆が深まったと思います。

3日目は牧場での体験を通し、自然からの恩恵に対して感謝の気持ちが生まれました。

「共生・協緑」を目標とした今回の3日間の活動を通し、仲間と協力し合う集団づくり、それを土台にした一人一人の自分づくりの大切さを感じました。その学びを、私たち緑学年の今後の学校生活に最大限生かしていきたいと思えます。



— 3学年修学旅行 — 神戸・京都

3日間ほとんど雨が降ることもなく、お天気も味方につけての修学旅行になりました。1日目、神戸で震災学習を行いました。体験者の方の講話を聞いたり、迫力のある映像などを見たりして、大切な多くの命を奪われた悲しみや辛さ、そしてそんな状況の中生き抜き、神戸の街を復興させてきた人々の精神力、絆の強さがあったことを知りました。2日目はタクシーでの班別自主行動。この日は晴れてとても暑かったのですが、タクシー運転手さんに案内していただきながらたくさんのお寺や神社をまわって、おいしいものもいただいて、京都を満喫し、大満足の日になりました。3日目は『河村能舞台』で能の体験学習をしました。能舞台の秘密、能面って実は…ということをお教えいただき、謡の体験では一緒に声を出し、和楽器や能の歩き方も実際に体験しました。『能』の世界が大切にしてきたこと、日本人として大切にしていきたいことをお教えいただき、能が700年も続いてきている秘密を知り、見ている私たちの心に大きく響くものを与えていただきました。その後は班別に嵐山を散策し、京都ならではの景色やおいしいものを楽しむ一時になりました。

【実行委員長のことば 3年2組 綿井 大樹】

今回の修学旅行では、二泊三日で神戸と京都に行ってきました。行く前までは、不安な事もたくさんありましたが、当日はみんなで声をかけ合い、スムーズに行動することができ、大きな失敗をすることなく修学旅行を終えることができました。そして今回の修学旅行をとおして、神戸で学んだ震災の事や、京都で学んだ古くからの建造物を知ることができました。そして三学年全員の仲を深めることができました。皆さんの行動力のおかげで全員が無事に帰ってくることができました。この修学旅行で学んだことを、これからの生活にいかし、よりよい三年生になればいいなと思えます。



あか中魂 勇猛果敢 第9回 体育祭

6月6日(木)、第9回体育祭が開催されました。毎年、雨の影響で予定通りの開催が危ぶまれる6月の体育祭。今年は一転、猛暑が心配されるほどの快晴の下での実施となりました。そのため、猛暑対策として短縮時程(山頂突破・海底突破・PTA種目をカット)での開催となりました。また、応援席での帽子着用とこまめな水分補給を呼びかけ、生徒一人ひとりが意識的に行動したことにより、当日、救護席へ熱中症の症状で訪れた生徒はいませんでした。短縮時程で行いましたが、生徒一人当たりの出場種目数(リレー・演技を除く)は去年の3種目から4種目と増え、生徒にとって充実した体育祭となりました。

体育祭は、毎年少しずつ進化しています。今年は、大きく3つ変更がありました。1つ目は、「SHOWとしての見せる体育祭」から、「普段の教育活動を活かす体育祭」への変更です。そのため、予行練習を行わず、最小限の練習時間での実施となりました。予行練習を行わずとも、開会式では立派に入場行進をすることができました。また、最小限の係打合せで、召集係、決勝審判係、得点係など、各係が連携して運営することができました。また、当日放送機器のトラブルがありましたが、放送委員が臨機応変に対応してくれたおかげで、無事に進行することができました。

2つ目は「学年対抗」です。従来通りの色別を残しつつ、学級間同士の戦いをより色濃く出した今年の体育祭。どの競技にも、色別優勝のため、学年優勝のため、一生懸命に臨む姿が印象的でした。スローガンの『勇猛果敢』を見事に体現していたように思います。

3つ目は「全校演技」です。昨年までは、3年生が『演舞と組体操』を行ってきましたが、今年は3学年一緒に表現活動を行いました。それぞれの学年が、現在・過去・未来というテーマに合わせて、全校生徒で心をひとつに演技することができました。

🏆総合優勝 白組🏆

おめでとうございます！！

☀️学年優勝☀️



1年1組 2年1組 3年3組

🏆綱引き優勝 3年2組🏆

初代 チャンピオン！！

1年学級対抗リレー

1位 4組 ・ 2位 1組

1年長縄跳び

1位 1組 48回 ・ 2位 4組 26回

2年学級対抗リレー

1位 1組 ・ 2位 3組

2年長縄跳び

1位 2組 71回 ・ 2位 1組 69回

3年学級対抗リレー

1位 3組 ・ 2位 4組

3年長縄跳び

1位 1組 74回 ・ 2位 3組 72回



部活動指導員を募集しています

◎募集する部活動：「剣道」「新体操」

◎「部活動指導員」とは？

- ・昨年度より導入され市の非常勤職員の身分で、単独で生徒の指導・引率が可能です。
- ・週5日・10時間を限度に1日あたり2時間の勤務を原則とします。(時間単価報酬 1500円)

学校生活支援員を募集しています

学校生活で支援が必要な子どものために、御協力をお願いします。現在、次のような支援が必要です。

○個別支援級での生活・学習支援

○宿泊行事での活動支援

※ 学校生活支援員には配置時間（1時間～5時間）に応じて1回あたり、謝金（1000～3000円校内支援の場合）が市教委から支払われています。

【担当連絡先】 副校長 松本

☎045-985-5010